

Voice NAGAOKAKYO

実証実験の実績（令和6～7年度）

じっくり話して、しっかり決める。市民参加型合意形成プラットフォーム

11

テーマ

総合計画関連、犬川散策路リニューアル、
小学校建替など

2,137

投稿件数

多種多様なテーマで意見聴取を実施

2,153

ユーザー登録

実証実験を通じて参加の裾野が拡大

主な内容

- ・ 11のテーマを通じて、多様な市民意見を収集
- ・ 計画策定から身近なテーマまで幅広く活用

Voice NAGAOKAKYO

本稼働の進捗（令和8年度・8月まで）

じっくり話して、しっかり決める。市民参加型合意形成プラットフォーム



6

テーマ

8月までに6件のテーマを実施



1,600

件超

文化ゾーン投稿

公民館・図書館などのリニューアルで
大きな反響



822

まち活コンテスト投票

補助金の追加交付先を投票で決定



4,593

現在ユーザー数

本稼働後も参加の裾野が拡大

主な内容

- ・ SNS広告の導入により、多様な層へ広がり
- ・ 文化ゾーンリニューアルでは、市民参加型トークイベントにも発展
- ・ 投稿だけでなく、投票という新たな参画手法も実施
- ・ ログイン不要で投稿できる設計とし、参加ハードルを低く

パブリックコメントへの移行

Voice NAGAOKAKYOの考え方と今後の留意点

1 Voiceの目的

- 幅広い層の意見・アイデア募集
- 市民とともに行うまちづくり
- 対面参加や形式的提出だけに限らない

運用の視点

- 計画への反映
- 意見の背景分析
- 結果公表
- 成功体験づくり
- マンネリ化の防止

2 実証実験で見たこと

- パブリックコメントとの併用では少数に留まる
- 構想段階からの意見募集が注目を集めやすい
- 自分ごと化の工夫が重要

3 今後の方向性

- デジタルに抵抗のない世代への活用
- 施策によってはパブリックコメント活用も有効
- スマホ・PCがなくても投稿できる環境整備
- 紙媒体の併用も検討

ポイント

意見を集めて終わりにせず、反映・分析・公表までを含めて参画の成功体験につなげる